

7月の園便り

なないろ山のひみつ



24年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

幼児教育学科の学生さんの日誌に興味深いエピソードが記録されていました。

○エピソード

午後の園庭遊びが終わり、各自の保育室へ戻る時、青ばらの玄関に赤ばらの男の子がやってきた。そこにいた青ばらの男の子二人はその子に気付く、そのうちの一人のA君が「赤ばらさんだからこっち来ちゃだめだよ」といった、そうしたら、もう一人の青ばらの男の子B君が、A君の発言に対し「ちがうちがう」と言った。

そしてB君は、赤ばらの男の子の背中に手をそえて、赤ばらの玄関の方を指さしながら、「赤ばらさん、あっちから来てね、バイバーイ」と言った。

○エピソードに対する考察

B君は自分たちより年下の赤ばらの子ができるようにいわれたらどう感じるか、言われた人の身になって考えることができたからこのような行動を取ったのだと思う。A君の言葉があまり適切でないと感じたが、「その言い方はだめ」という言い方ではなく、相手が嫌な気持ちにならないようできるだけ優しい言葉をつかったのだと思う。

B君が赤ばらさんの背中に手を添えることや指で示すなどは、保育者の行動を見て学んだのかもしれないと思った。赤ばらの男の子に分かりやすいよう考えて行ったのだと思う。

青ばらさんが小さな子どもたちを大切に思い、守ってあげようとする姿勢を持っているということは本当に嬉しいことでした。

このエピソード記録に、B君の行動は、保育者の行動を見て学んだのかもしれないありますが、保育者の行動を真似るということももちろんありますが、これはお母さんの姿でもあります。お母さん（保育者も）の言葉や行動をそのまま真似をして、自分の言葉とし、自分の行動としていくという、これが幼児期の子どもたちの学びなのですから、子どもの側にいる大人が何を考え、何を自分の軸としていきっていくのか、大人の生き様のすべてが、重要な教育となっていることをつくづく思います。B君のお母さんは、どの子にも優しく接して、思いやりを持って接していらっしゃるのでしょうか。子どもたちは、人を大切にする心を、人を大切にする大人から学ぶことができます。人間の行動は、様々な事情や環境に影響されて、他の人との関係の中で生まれてくるのです。良い環境があれば、子どもは自分で真似をし、自分で自分を教育していく（自己教育）のですから、私たち大人は、しっかりと生きなくてははいけませんね・・・

7月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	日	/	/		
2	月	○	2:00		
3	火	○	2:00		
4	水	○	2:00		
5	木	○	2:00		
6	金	○	2:00		
7	土	×	11:30	自由登園日です。	
8	日	/	/		
9	月	○	2:00		
10	火	○	2:00		
11	水	×	11:30	誕生会、7月生まれさんの保護者の方、一緒にお祝いしましょう。	
12	木	○	2:00		
13	金	○	2:00		
14	土	/	/	第2土曜日	
15	日	/	/		
16	月	/	/	海の日	
17	火	○	2:00		
18	水	×	11:30	誕生会、8月生まれさんの保護者の方、一緒にお祝いしましょう。	
19	木	○	2:00		
20	金	○	2:00		
21	土	×	11:30	子育て講座がありますので自由登園はお休みです。	
22	日	/	/		
23	月	○	2:00		
24	火	○	2:00	本日で給食は終わりです。	
25	水	×	11:30	降園時間が早くなります。	
26	木	×	11:30	第1学期終業式です。	
27	金	/	/	赤ばらさん白ばらさんは夏休みです。星の子ルームはあります。 青ばらさんは、夏のお楽しみ会を行います。	
28	土	/	/	第4土曜日	
29	日	/	/		
30	月	/	/		
31	火	/	/	卒園児さんの同窓会が行われます。	